



安全・安心をお届けいたします

# グリーンプロジェクト情報 第10号

さらさら Eyeランド

JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合

協力：酒田農業技術普及課

## アワヨトウと斑点米カメムシ類に要注意！ 登熟を高める水管理で品質向上を！

今年の梅雨明けは8月2日とみられ、平年より8日遅れました。出穂期については当初2～3日程度遅れる予想でしたが、天候が回復し平年の1日遅れとなりました。

仙台管区気象台の1カ月予報（8月3日発表）によると、今後1カ月の気温は高いと予想されています。天候に対応した水管理を行い高品質米生産に努めましょう。

また、斑点米カメムシ類については多くの地点で確認され、発生量もやや多く7月20日に注意報が発表されています。葉いもちについては、葉色の濃い圃場や過繁茂の部分で確認されています。圃場の見回りを行い、病害虫の発生状況を確認し防除の徹底を図りましょう。

◎出穂期（平坦部） ※つや姫(コシカ)、つくばSD2号については予想出穂期

どまんなか	ひとめぼれ	はえぬき	つや姫(コシカ)	つくばSD2号
8/1～8/4	8/4～8/7	8/4～8/7	8/12～8/15	8/14～8/16

◎7月30日のJA展示圃生育状況 ( )内は平年対比、但しSD2は指標対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉 色
どまんなか	89.3 cm (99)	477 本/m <sup>2</sup> (95)	11.0 (-1.6)	37.5(+3.3)
はえぬき	77.2 cm (100)	420 本/m <sup>2</sup> (81)	12.2 (-0.2)	41.9(+4.2)
ひとめぼれ	81.0 cm (99)	455 本/m <sup>2</sup> (97)	12.5 (-0.1)	37.0(+1.0)
つ や 姫	79.4 cm (100)	414 本/m <sup>2</sup> (92)	12.5 (±0.0)	34.7(-1.4)
つくばSD2号	77.4 cm (104)	610 本/m <sup>2</sup> (108)	12.6 (±0.0)	37.5(+1.8)

※葉色は葉緑素計（SPAD）の測定値による。

7月30日の生育状況は、草丈が平年並、茎数はやや少なく、「はえぬき」「ひとめぼれ」の出穂期は平年よりおおむね1日遅れとなりました。

### 技、其の一 斑点米カメムシ類注意報発表！

#### ① 斑点米カメムシ類

7月31日のすくい取り調査でも、斑点米カメムシ類の発生が多く、多くの地点で確認されています。

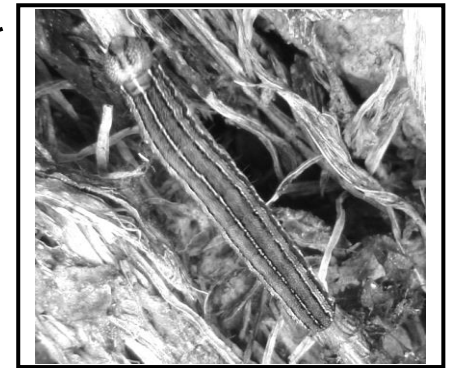
カメムシ被害防止の為に、**出穂から3週間は圃場周辺の草刈りを控え**、水田内への進入を防ぎましょう。

#### ② アワヨトウ

飛来性害虫である「アワヨトウ」の被害が、7月上旬牧草地を中心に発生し、発生密度の高いところでは、幼虫の食害で葉が食いつくされたところもありました。

**今後、次世代の幼虫による食害が、8月中旬頃から見え始め、8月下旬～9月上旬には被害の高まる圃場が発生する恐れがあります。**葉がなくなるほど食害されると、収量・品質が著しく低下します。

過去の発生事例から、被害の受けやすいと思われる水田は、「**葉色の濃い圃場**」「**夜間明るい場所**」です。また、幼虫の発育とともに、短期間で被害が拡大します。**圃場をよく観察し、アワヨトウがみられた場合、速やかに最寄営農課へご相談ください。**



アワヨトウの中齢幼虫

#### ③ 穂いもち

穂揃期を迎え、穂いもち(特に穂首いもち)感染の危険性が最も高い時期となります。上位葉に穂いもちが見られる圃場では、穂いもちの発生が懸念されますので、圃場を見回り、追加防除を実施しましょう。特別栽培米については、営農指導員へご相談下さい。

### 技、其の二 高温による品質低下を防ぐ為、徹底した水管理を！

出穂期以降に高温が続く場合は、胴割粒・乳心白粒による品質低下が懸念されます。当地区では、過去に右枠のような高温による品質低下を経験しています。

収穫期まで気を抜かず、天候に即した水管理で品質向上に努めましょう。

過去の高温年での

酒田飽海地区の一等米比率

平成 6年	45%	(乳白粒等の多発)
平成11年	6%	(乳白粒等の多発)
平成18年	87%	(胴割粒の多発)
平成22年	75%	(乳白粒等の多発)

(裏面に続く)



アカスジカスミカメ 体長：5～6mm  
最近急増している種。ヒエ、ホタルイの発生が多い圃場で多発生傾向！

《登熟期の水管理の基本》

出穂後日数	圃場の土壌水分保持の目安
～20日	くぼみ、作溝等に水が残っている程度。それ以上は乾かさない。
21日～30日	足を入れて、かかとの部分に水がにじみ出る程度。
31日以降	黒乾亀裂（一部ひびが入る程度）。※白乾亀裂までにしないこと。但し、刈取り間近になったら、作業に支障のない程度まで乾かす。

- ◇出穂後20日間は玄米形成に最も重要な時期です。2湛2落（間断灌水）を基本としながら、**常に飽水状態の維持**を念頭に、収穫時まで根の活力維持に努めましょう。
- ◇庄内地域は海洋性の気候により、日中と夜間の気温差が小さい地域です。高温時は各地区の給水規則を守り**夜間灌水を徹底し**、日中と夜間の温度較差をつけて登熟を高めましょう。
- ◇高温、強風時（フェーン現象）には、稲体の消耗が大きくなるので、**事前に湛水し**稲体を保護しましょう。
- ◇完全落水は出穂から**31日以降**を目安とします。早期落水は登熟を妨げますので、最後まで必要な水を与えましょう。

**技、其の三 大豆の管理はこまめな巡回と適期防除を！**

今年の大豆の開花期は、平年並となっていますが、は種時期により開花期に差が見られます。現在の生育は草丈・主茎長・主茎節はやや少ない～平年並の状況です。

品 種	リュウホウ	エンレイ	里のほほえみ
開花期	<b>7/26頃</b>	<b>7/29頃</b>	<b>8/1頃</b>
防除適期	紫斑病	開花期25日後～35日後	
	マメシンクイガ	1回目 8月25日頃	2回目 9月5日頃
	ジャガイビゲナアブラムシ	8月上旬～中旬	

- ※紫斑病防除は莢にも薬剤がかかるよう丁寧に散布しましょう。
- ※アブラムシ防除は葉裏にも薬剤が十分かかるよう散布しましょう。
- ※防除薬剤については、「大豆生産基準」に基づき指定薬剤を使用しましょう。

**米生産履歴記録書の提出を忘れずに!!**

収穫前までに米生産履歴記録書をすべて回収し、記載内容の確認をさせていただきます。指定された期日まで生産履歴記録書を記入の上、提出下さる様お願い致します。

しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫



**つや姫情報コーナー**



- **出穂期には湛水管理を！**  
出穂期は、特に水分を必要とするため、湛水管理としてスムーズな開花受精を促しましょう。出穂期以降は間断かん水（2湛2落）で登熟をサポートしましょう。
- **登熟期の葉色診断で玄米粗タンパク値のチェック！**  
穂揃期はSPADで「35以下」、出穂20日後は「32以下」が目安です。
- **落水時期は出穂後30日以降に！**  
早期落水は品質の低下を招きます。落水時期は、出穂後30日以降としましょう。

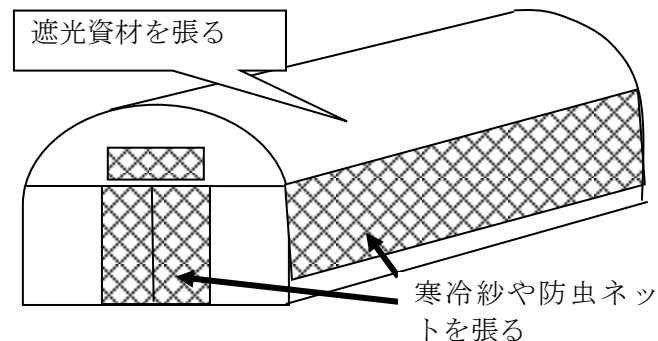
**秋出しストックの栽培暦(直まき)**

**栽培のポイント**

- ・ は種8～10日後と18～20日後、2回に分けて八重鑑別を行う。
- ・ 発芽適温は20～25℃で、それ以上（熱帯夜が続くよう）だと発芽率が悪くなる。
- ・ ハウスサイドを巻き上げ、裾ビニールも可能な限り引き下げて通風を確保し、温度の低下を図る。
- ・ コナガがつきやすいので防除を徹底すると共に、寒冷紗等で進入防止に努める。
- ・ 冬季は最低温度5℃を確保し、夏季は日中20℃以下を目標に温度管理を行う。

**○は種準備<ハウス準備>**

コナガ進入防止のため、開放部（サイド、妻面）に寒冷紗を張る。は種3日以上前から遮光率30～50%の遮光資材を張り、地温を下げしておく。



**<土壌消毒>**

立枯病等の土壌病害防除と雑草防除のために、ダゾメット剤または土壌還元消毒等を行う。

**○は種 ☆重要なポイント☆**

ほ場はできるだけ均平にし、覆土は厚さを揃えて5mm以内とする。発芽を揃えることが八重鑑別成功のポイント。

基肥	ロクダ肥料 70日タイプ	60kg
	有機&イト	100kg
	苦土重焼燐	20kg
	苦土石灰	pHに応じて
追肥	有機&イト	60～80kg

**栽植密度 条間15cm×株間13～15cm、6～8条植え。**

**<温度管理>** 発芽適温：20～25℃（暑いと発芽不良） 発芽日数：3日  
ハウス換気の徹底：通風良くして涼しく管理 遮光：は種後7～10日程度は温度低下、乾燥防止のために被覆する（子葉が完全に展開したら外す）。

**<水管理>** は種～発芽：乾かさないうにかん水（毎日2～3回程度）。子葉展開～は種1ヶ月後：土壌表面が乾いたら灌水（毎日1～2回程度）。

**○その他の管理 <追肥>**

は種後35日ころ、有機&イト等の肥料を10坪あたり1～2kg追肥し、条間を軽く中耕する。

**<フワリネットの設置>** 草丈15～20cmのころ、15cm×8目、18cm×7目のネットを張る。支柱の高さ10cm程度のところにマイカー線を張る。生育に従ってネットを上げる。

**<摘心>** スプレーストックは、頂花が色づいた頃に摘心し、分枝させる。2～3回に分けて順次行う。

**★次号の発行は9月11日です！**